

透析看護認定看護とは？

～分野説明～

透析療法を必要としている患者さんおよび御家族が、療養生活に必要な技術の実践と合併症予防のための自己管理への指導を行います。末期腎不全期の腎代替療法の選択、透析導入、透析中断に関わる意思決定の支援を行います。透析療法を安全、安楽に実施するための、安全管理や透析条件の検討など、他職種と連携し、個別性に添ったチームアプローチをしていきます。

～コンサルテーション例～

透析療法管理	<ul style="list-style-type: none">• 自己管理支援（食事療法、薬物療法）• 合併症予防• バスキュラーアクセス関連• 腎臓リハビリテーション
意思決定支援	<ul style="list-style-type: none">• 末期腎不全期における腎代替療法（透析・PD・腎移植）• 透析見合わせ、中断、ラスト PD
安全管理	<ul style="list-style-type: none">• 感染予防対策• 透析部門でのリスクマネジメント• 災害対策管理
その他	<ul style="list-style-type: none">• 社会資源の活用• 透析分野での新人看護教育、現任教育

このほかニーズに合わせた研修会なども可能です。

現場でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

透析看護認定看護師 役割と活動内容

● 役割

- 実践** 透析を必要とする患者、家族および集団に対して、専門的知識と熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
- 指導** 安全・安楽で、統一した透析看護が提供できるよう看護職に対して技術的な指導や研修を行う。
- 相談** 日常の困りごとや透析専門性の高い問題まで、対象となる組織や個人に対してコンサルテーションを行う。

● 活動内容

1) 実践

- ・透析を受ける患者の特性・健康障害の経過をふまえ、生活者としての在りようを理解出来るよう身体面、心理面、社会面の多方面から問題を的確に把握し、問題解決に向けて看護展開をする。
→透析患者の看護計画、評価など、テンプレート作成
- ・透析療法によって内部環境の恒常性を維持する患者の健康状態、またブラットアクセスを有する患者の特性を理解し、適切な管理、指導を行う。
- ・透析療法に必要な専門的知識や機械操作や熟知し、患者へ安全、安楽な透析を提供する。
→認知症や安静が守れない患者に対する患者に対して、抑制に頼らず、安全なシャント肢、針の固定方法など工夫をする。
- ・病棟看護師や退院支援看護師らと連携を図り、統一した看護が提供できるようリーダーシップを発揮する。
- ・医療チーム内での意思疎通が円滑にはかれるよう、カンファレンスや情報伝達の方法について考え、他職種連携においてリーダーシップを発揮する。→透析カンファレンスの実施
- ・患者、家族の価値観や生活信条を尊重し、効果的なコミュニケーションを図り相互関係を形成し発展させる。そして療法選択やアドバンスケアプランニングについて共に考え、納得して人生の選択をすることを支援する。→事前指示書の作成と同意についての活動
- ・外来・入院の透析患者の下肢末梢動脈疾患重症化予防のため、ガイドラインに基づきリスク評価を行い、必要な患者に対しては専門的な治療に導けるよう連携を図る。

2) 指導

- ・透析に従事する看護職、病棟看護職に対して、自らの看護の根拠を示し実践的な指導を行う。
- ・透析患者および家族の特性を捉え、学習者としての患者の力を、引き出すことが出来る。
- ・透析リーダー教育に基づいて、個人の能力を最大限に引き出すよう、必要な知識や技術の伝達や教育的な関わりをする。

3) 相談

- ・透析領域の看護師や他職種に対して、または組織の内外においてコンサルテーションをする。
- 透析管理（食事療法・薬物療法・運動療法・透析条件等）・バスキュラーアクセス・腹膜透析・移植・透析部門における安全管理・療法選択・アドバンスケアプランニング等